

## 絵巻の見どころ

### ●筑前国の武士の館

一遍が訪れた武士の館が描かれています。厩舎や門前にいる馬、門の上の櫓に置かれている矢や盾、門を入った右手にある持仏堂、鷹を飼い慣らして訓練する鷹飼など、武士の生活を垣間見ることができます。



筑前国の武士の館(第4巻)〈清浄光寺(遊行寺)蔵〉

### ●鎌倉に入ろうとする一遍

一遍が執権の北条時宗一行に鎌倉入りを拒まれていた様子です。場所は鎌倉の巨福呂坂周辺で、鎌倉に入れなかった一遍は、片瀬の地蔵堂で踊り念仏を行います。地蔵堂の推定跡地は、現在「片瀬3丁目まちかど公園」になっています。



片瀬3丁目まちかど公園

鎌倉に入ろうとする一遍(第5巻)〈清浄光寺(遊行寺)蔵〉



### ●備前国福岡の市

備前国の福岡(岡山県瀬戸市)の市での風景です。一遍に感化された妻が出家し、怒った夫が刀に手を掛けて一遍に詰め寄っています。周囲に描かれた市女笠をかぶる女性や米の量り売りをする商人、備前焼の大かめ、船着き場などから当時の市の様子をうかがい知ることができます。

備前国福岡の市(第4巻)〈清浄光寺(遊行寺)蔵〉

## 新たに藤沢市指定重要文化財に指定します

10月1日に遊行寺にある2つの建造物を新たに市指定重要文化財に指定します。

### ●中雀門

1859年に建立された、遊行寺で最も古い木造建造物です。木造の向唐門で、高さは約6m、幅は約2m70cm。大棟に皇室との深いつながりを示す菊の御紋、屋根の下に徳川家の家紋である葵の御紋が刻まれています。

1880年の藤沢宿大火の被害を免れ、1923年の関東大震災での倒壊からの復旧を経て、現在にその姿をとどめています。

建築年代が明確な近世建築で、現在も利用されていることが評価され、市指定重要文化財に指定されます。



### ●青銅製灯籠

高さ約2m80cmの青銅製の灯籠で、遊行寺の正門の両脇に1基ずつ据えられています。熱心な信徒たちにより建造が望まれ、1848年以降に建立したと推定されています。鋳造師は、江戸で活躍した西村和泉守藤原政時です。

すでに指定を受けている江の島入口青銅鳥居とともに、市内にある青銅製の大型建造物として希少であり、江戸との文化的交流を伝えていることから、市指定重要文化財に指定されます。



### 遊行寺宝物館「国宝 一遍聖絵」展 特別割引券

会期中、本券を切り取って持参すると、入場料が一般700円、小・中学生が350円に割引になります。

※1枚で2人まで、遊行寺宝物館でのみ有効です  
※他の割引券との併用不可